



川根区 自治会の皆さんと 住民原子力懇談会を実施しました

2月20日 川根区の皆さん10名の方に参加していただき、住民原子力懇談会を実施しました。

日本原子力発電株式会社の施設を見学し、使用済燃料の保管や震災後の安全対策を中心に、活発な議論が行われました。

<住民原子力懇談会の目的>

住民原子力懇談会は、住民・原子力事業所・行政が施設見学や意見交換を行うことにより、相互理解を深め、原子力安全行政の充実及び原子力安全対策の拡充に寄与することを目的に、平成20年度から行っているものです。

平成23年3月11日に起きた東日本大震災による原子力発電所への影響と今後の安全対策について、現場見学を含め、活発な質疑応答が行われました。

見学会では、津波対策が施された水密扉や外部から冷却水を供給するために取り付けられた配管、免震棟、乾式貯蔵施設、原電グラウンドに配備された電源車やポンプ車、海水ポンプなどの交換用設備を見学しました。

原子力安全対策課に対しては、除染に関する質問やご意見が多く出されました。

なお、見学会・懇談会には、環境省原子力委員会東海・大洗原子力規制事務所の所長も同席され、住民の皆さんの疑問や意見を聞いていただきました。



<川根区 住民原子力懇談会 実施概要>

平成26年2月20日（木）13時～16時30分

見学会 13時～14時50分

原電東海事務所内会議室で概要説明

現場見学

電源車・ポンプ車等配備状況

水密扉、免震棟

乾式貯蔵施設など

懇談会 15時10分～16時30分

原電テラパーク内 会議室